

第 99 回本郷ふじやま公園古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜市南部地域・通算 14 回目・栄区その 2」

本郷ふじやま公園古民家歴史部会員

長谷川 一郎

平成 27 年 7 月 1 日(水)

「鍛冶ヶ谷―正翁寺ほか」

***集 合：** 「鍛冶ヶ谷バス停」 **9 時 50 分厳守同時出発。**
(ファミリーマート前)

- (1) 行 程： 下記「探訪先」に同じ。
- (2) 食事 場所： 自 由 行 動
- (3) 探 訪 先： 栄区役所「さかえの見どころ」、「栄区郷土史」、「栄区歴史散策マップ」などを参考にした。
- ① 鍛冶ヶ谷八幡神社： 鍛冶ヶ谷町の鎮守様。 創建は鎌倉時代ともいわれるが、定かでない。 拝殿の両側に祭神の応神天皇が刻まれている。 境内には幾つかの庚申塔があり、寛文 8 年(1668 年)修造の阿弥陀庚申塔は本郷で一番古い。
- ② 富士塚(富士講碑)： ふじやまの山頂 80m 部分に 3 基の碑が建つ。中央に「参明藤開山」、右に「南無妙法蓮華経」、左に「食行身録仵菩薩」とある。寄進者の刻明等から造年は弘化年間(1844～1847)と推定される。昭和 40 年(1965)頃までは毎年 7 月 24 日の草刈や、8 月 1 日には「ふじやま祭り」が行われていた。
- ③ 子の神日枝神社： 中野町の鎮守様。農業の神様として信仰されている。
- ④ 相武国境碑： 元大橋公園内に新しく建てられた碑で、相模と武蔵の国境。今は栄区と港南区の区境。
- ⑤ 鎌倉街道全線開通記念碑： 七曲バス停から、30～40m ほど坂を上った右の山際に建つ。(次の⑥と隣合っている。)
- ⑥ 道祖神供養碑・道標： 安政 6 年(1859)神奈川港(後の横浜港)が開港され、その 2 年後、民費により、「鍛冶ヶ谷大道北通り」が完成。この地に文久元年(1861)「道祖神供養碑・道標」が建てられ、「ぐみょうじ横浜道」と刻まれている。平成 11 年「横浜市地域有形文化財」に指定された。
- ⑦ 正 翁 寺： 昔は證菩提寺の一堂だったが、現在は曹洞宗の寺。本尊は、虚空蔵菩薩。

***帰 り：** 正翁寺前で解散。

以上

全行程：約 4.0km

